

「住民力」による 真の協働のまちづくりを目指して



三芳町長

林 伊佐雄

住民の皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私は、昨年暮れの三芳町長選挙におきまして、当選の栄に浴し、平成二十三年一月十四日付けをもって、三芳町長に就任いたしました。

世界同時不況以来、各自治体の財政状況は悪化しています。そうした中で、当町において

も今後大型の投資を控え、5年後の町債残高は、1.4倍（140億円強）になる見込みです。一方、地方分権が進み、自治体の経営能力の差がまちづくりの結果に現れる時代になりました。

私は、このたびの選挙を通してマニフェスト『未来開拓43の宣言』を掲げ、住民の皆様にも「3つの約束」をいたしました。

- (1) 住民とともにすすめる行財政改革
- (2) 子どもの幸せを第一に
- (3) お年寄りが憩えるふるさとに

しかし、マニフェストは作って終わりではなく、大切なことは、実行し、それを評価し、その進捗状況を情報公開し、説明責任を果たしていくことです。また、これらの実現のためには、主権者である住民の皆様の積極的な参画が必要です。地域の課題を住民の皆様自らの知恵と能力で解決していく地域コミュニティの力、すなわち「住民力」が求められます。そうした住民力が活きる真の協働の町を目指していきます。先人達が創り上げた、この素晴らしい三芳町のさらなる発展と、住民の皆様の幸せのために、微力ではありますが、粉骨砕身全力で取り組んで参ります。皆様の一層のご指導ご鞭撻とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



▲一階フロアにて、執務中の林町長